



平成21年2月19日

各 位

会 社 名 株式会社フォーサイド・ドット・コム
代表者名 代表取締役社長 安嶋 幸直

(J A S D A Q ・ コード 2 3 3 0)

問合せ先 執行役員経理部長 飯田 潔

電話 0 3 - 5 3 3 9 - 5 2 1 1

平成20年12月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成20年8月12日付当社「平成20年12月期中間決算短信」において発表いたしました平成20年12月期(平成20年1月1日～平成20年12月31日)の連結業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年12月期 通期連結業績予想の修正等

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	5,000	500	500	500	214.14円
今回修正(B)	5,042	235	269	68	29.45円
増減額(B-A)	42	735	769	568	-
増減率	0.1%	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成19年12月期)	10,495	335	167	325	137.36円

2. 修正理由

当連結会計年度は、サブプライム問題に端を発する金融危機の影響から、世界的な景気不透明感が高まり、昨年秋以降は企業の設備投資や消費意欲の減退がさらに顕著となりました。当社グループの連結売上高につきましては主力のコンテンツ事業において第3世代(3G)携帯電話向け商材の開発・販売に注力した結果、特に上期における高額課金会員数の増加が貢献し、5,042百万円と当初の予想数値を達成しました。

一方で利益面につきましては、前期における収益の柱であった第2世代(2G)携帯電話向け商材から3G商材へと収益構造の転換を図り、2G商材の継続売上と3G商材の高成長を見込んで業績の予想数値を策定したものの、2G商材の想定以上にマーケットの減退が速く、3G商材の会員獲得コストの上昇が収益に影響いたしました。具体的には、2Gにつきましては八

イスペック携帯電話への移行が進み2G商材の売上が予想以上のペースで減少したことが利益に影響いたしました。3G商材につきましては、下期以降の景気低迷による消費マインド低下の影響で継続会員の伸び悩みが顕著となったため積極的にプロモーションを展開したことに加え、アフィリエイト広告に対する他社参入が相次ぎ広告単価が上昇したため、広告宣伝費が1,295百万円となり投入収益を圧迫する結果となりました。さらに当社は平成20年11月4日の「子会社解散に伴う特別損益の発生に関するお知らせ」でご報告のとおり、関係会社清算益589百万円を特別利益として計上しておりますが、米国子会社Vindigo, Inc.の事業再編・解散に伴うリストラクチャリング費用等により285百万円を特別損失として計上しました。さらに、米国の金融危機の影響によるコンテンツ消費の低下および3G携帯電話向け商材への設備投資ならびに事業再編・解散に伴うコンテンツの権利元に対するロイヤリティ支払い等を理由として営業損失が拡大する結果となりました。

以上の結果、誠に遺憾ながら当初計画を達成することができず、営業損失、経常損失及び当期損失を計上する見込みとなり、当期業績を上記の通り修正するものであります。

3. 平成20年12月期個別業績の見通しについて（平成20年1月1日～平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
業績見通し	4,471	11	40	1,197

平成20年12月期（平成20年1月1日～平成20年12月31日）の個別業績につきましては、業績予想を開示しておりません。

（ご参考）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前期実績 （平成19年12月期）	2,721	385	341	1,230

4. 見通しの理由

当期の個別売上高につきましては、前期より取り組んで参りました事業再編の結果、国内単体事業に経営資源を集中する体制が整い、フラッシュコンテンツや電子書籍といった3G商材の積極投入により4,471百万円と大幅に増加する見通しです。営業利益に関しましては、損失幅は大幅に縮小するものの売上増加に伴う広告宣伝費増加の影響で11百万円を見込んでおります。経常利益に関しましては売上高、営業利益の要因と併せて為替損が拡大したことが影響し、40百万円の経常損失を見込んでおります。当期純利益につきましては、米国子会社の関係会社株式清算損が影響し1,197百万円の当期純損失を見込んでおります。

5. 配当予想修正

上記業績予想の修正により、従来未定としておりました期末配当および年間配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
前回予想 (平成20年8月20日発表)	円 銭 -	円 銭 未定	円 銭 未定
今回修正予想	-	0.00	0.00
当期実績	0.00	-	-
前期(平成19年12月期)実績	73.00	53.00	126.00

6. 配当予想修正の理由

当社は従来より配当予想を未定とし、業績等を踏まえた配当を行うことを基本方針に、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保の確保に配慮していく考えであります。しかしながら上記のとおり平成20年12月期連結業績予想につきましては、非常に厳しい見通しでありますので誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

以 上